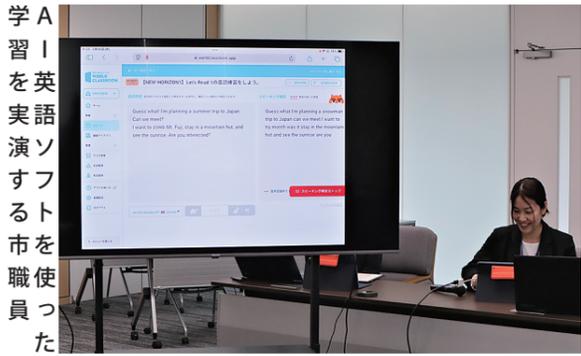




湖北



AI英語学習を実演する市職員

長浜

中学などにAI英語学習ソフト
長浜市教委が12校に

長浜市教委は今年度から音読やプレゼンテーションなどの練習機能を備えたAI英語学習ソフト「World Classroom」を市内中学校・義務教育学校計12校に導入した。県内での本格活用は初。

ことから、本格導入することになった。生徒に貸与しているタブレット端末からアクセスし利用する。英単語や英文を音読して発音を確認したり、文法チェック機能で英文の添削をしたりすることが可能だ。

市教委は「生徒が練習した回数やスコアなどの学習状況を教員が容易に把握できるように、日々の指導に役立てていく」としている。

【長浜通信部・長谷川隆広】

湯っ田り散策マップ
湯田地域の魅力再発見



策関係者「湯っ田り散策マップ」を紹介

長浜市の湯田地域の魅力を発信する「湯っ田り散策マップ」が完成した。同地域の自然や歴史、観光名所などを再発見するもので、浅井湯田地域づくり協議会が作製した。湯田地域は旧浅井町西部エリアを指す。表は協議会のマップ

【長浜通信部・長谷川隆広】

湖東

彦根

住民が暮らしサポート
若葉小学校区にボランティア

彦根市の若葉小学校区で5月、住民によるボランティアグループ「暮らしのサポート若葉」(市川良章代表)が発足した。学区内の高齢者らを有償で手助けする。活動内容はゴミ出し、草刈り、送迎(病院、買い物)、電球交換、粗大ゴミの搬出・運搬など。

利用は①コーディネーターに困りごとを相談②コーディネーターが支援する内容、時間を調整③手配を受けたサポート



副駅名「行田電線滋賀工場前」
五箇荘駅、近江鉄道4駅目

近江鉄道(本社・彦根市)は5月20日、五箇荘駅に副駅名「行田(ゆきた)電線滋賀工場前」を導入した。行田電線は大阪市城東区が本社の電気機械器具・電線メーカー。1949年3月に設立された。同駅が滋賀工場(東近江市宮庄町)の近くにあり命名権企業となった。近江鉄道ホームページ、ホームの駅名標、車内の案内アナウンス、液晶式運賃表示などで副駅名をアピールする。

今回は4駅目の導入となる。企業、商業施設、学校、病院などを対象に副駅名の命名希望を募っている。問い合わせは営業部広告課0749・223444(平日午前8時半〜午後5時半)。他の3駅(導入日、副駅名)は次の通り。新八日市(2022年9月20日)、カネヒヨウ古美術熊木前(▽尼子(23年5月20日、古河AS本社前)▽武佐(24年3月28日、三菱ロジスネクスト前)

【彦根通信部・伊藤信司】



上りホームの駅名標